

「人生の方程式」

校長 安部成年

京セラや第二電電（現KDDI）の創業者であり、2010年には会社更生法の適用を申請した日本航空（JAL）の代表取締役会長に就任し、わずか2年で再建を果たされた稲盛和夫という方を皆さんはご存じでしょうか。

稲盛氏は、人生をよりよく生き、幸福になるための考え方を、一つの「方程式」で表現されています。その「方程式」は、「人生・仕事の結果 = 能力×熱意×考え方」というもので、〔能力〕と〔熱意〕はそれぞれ0点から100点まであり、〔考え方〕はマイナス100点からプラス100点まであります。ちなみに、〔能力〕は多分に先天的な要素であり、〔熱意〕と〔考え方〕は自分の意思でコントロールできる後天的な要素です。

結果が掛け算で得られることから、いくら〔能力〕が高くても、〔熱意〕が0点なら結果は0点ということになります。逆に、〔能力〕が低くても、そのことを自覚して人生や仕事に燃えるような情熱であれば、先天的な〔能力〕に恵まれた人よりはるかに良い結果が得られるということになるのです。そしてさらに重要なポイントは、〔考え方〕にマイナス点が存在するという点で、〔考え方〕がマイナスであれば結果はマイナスとなり、しかも〔能力〕が高いほど、〔熱意〕が強いほど結果は大きなマイナスになってしまうということです。1995年にオウム真理教が起こした地下鉄サリン事件などはその極端な例になるのではないのでしょうか。

稲盛氏は、3つの要素の中で最も大事なものは〔考え方〕であり、「考え方次第で人生は決まってしまうといっても過言ではない」と仰っています。そして、プラス方向の〔考え方〕とは、「つねに前向きで建設的であること。感謝の心をもち、みんなといっしょに歩もうという協調性を有していること。明るく肯定的であること。善意に満ち、思いやりがあり、やさしい心をもっていること。努力を惜しまないこと。足るを知り、利己的でなく、強欲ではないことなどです。」とも仰っています。

私も、人生の善し悪しはその人の考え方次第で決まると思っています。自分自身や自分が置かれた環境などを肯定し、与えられた条件の中でどのように工夫し努力するかが大切です。他人や環境などが自分の思い通りになることはありませんから、それらに対して不平不満を言ったところで何も解決しません。生かされていることに感謝し、直面している状況を前向きにとらえ、課題解決のために自分がどのように変わればよいかを考え懸命に努力することによって人生は充実していくものだと思います。

第1回中高オープンスクール開催

7月8日（土）、中学校のオープンスクール（午前中）と高校のオープンスクール（午後）を開催しました。前日の大雨、当日も天候が心配されましたが、県内外からたくさんの小4～6年生の児童・中学3年生の生徒と保護者の皆様に来校いただきました。

中学

オープニングでは「活水中学校の1日」のVTR、中学吹奏楽部による演奏（フルーツ独奏・クラリネット3重奏）を楽しんでもらいました。全体会（礼拝体験、生徒会長の挨拶、英語暗唱発表（英語暗唱大会1位の中3平田笑子さん）の後は、「英語レッスン」と「運動とダンス」の体験です。専任外国人教師による英語レッスンは、小4・5と小6年生の2グループに分かれ、英語で自己紹介やビンゴゲームなどが行われました。最後のプログラムは、体育館に移動し、活水中学校3年生の生徒たちと一緒に体を動かしました。ウォーミングアップのゲーム、グループに分かれ創作ダンスと発表、参加した小学生は、最初は緊張した様子でしたが、時間が経つにつれてワイワイと楽しそうな雰囲気ですべてのプログラムに参加していました。また、別プログラムとして在校生の保護者と参加者の保護者の交流会も行われ、和やかに時間が過ぎて行きました。



高校

受付を済ました中学3年生は、全体会までの待ち時間の間に校内探検で校内の5か所を巡り、クイズに答えたり、ベビー人形抱っこ体験などをして記念品（活水グッズ）を受け取っていました。全体会の始めは、吹奏楽部によるウェルカムコンサートです。続いて次年度から大きく変わる新コースの紹介、高校受験、卒業後の進路についての説明が行われ、最後にスクールライフ見学です。「活水高校の1日」を劇にして（劇の台本・演出はすべて生徒が考えました）来校者に紹介しました。



参加者の皆様からは、「紹介してくれるみなさんの笑顔が素敵でした」「校内の雰囲気や生徒のみなさんの様子などパンフレットでは伝わらない部分を感じられてよかった」などたくさんの感想をいただきました。ご協力くださいました保護者の皆様、在校生のみなさん、ありがとうございました。

（常泉晶子）

8月行事予定	
1 (火)	高一・IIⅢ自学週間 (～4日)
6 (日)	第3回活水女子大オープンキャンパス
9 (火)	原爆忌 平和祈念集会
11 (金)	山の日 校舎閉鎖 (～16日)
17 (木)	高校夏期課外 (～22日) まるごと活中体験 ^⑫
19 (土)	活水女子大看護学部 (大村) オープンキャンパス
25 (金)	始業式 高Ⅲ進路説明会
26 (土)	特別時間帯 高校第2回オープンスクール部活動体験
27 (日)	教会出席日4
28 (月)	実力テスト
29 (火)	夏期特別授業 (～31日) 高一小論文模試
30 (水)	高Ⅲ面接講座 高Ⅱ活水女子大出張授業 高一薬物乱用防止教室



今月の聖句

「強く、雄々しくあれと、私はあなたに命じたのではない。うろたえてはならない。おののいてはならない。あなたがどこに行っても、あなたの神、主があなたと共にいるからだ。」（ヨシュア記 1:9）

みなさんの思い描く「強い人」はどんな人でしょうか。きっと、筋肉ムキムキで、体力などに自信のある人というイメージではなく、心の強い人、意志の強い人、人の意見に流されない人などをイメージするのではないのでしょうか。聖書では、神様が私たちに「強く、雄々しくあれ」と命じておられます。神様に言われてもやっぱり自信がないな、人に流されてしまいそうだと思うかもしれません。そんな時は思い出してください。神様はあなたと一緒にいられます。一緒にいるから大丈夫だよ、自分の信じたこと守り通していいんだよ、そうやってあなたの横にいて励ましてくださっています。（常泉晶子）

貴重な体験を進路選択に活かそう ～高II企業見学会～

7月11日(火)午後、高校II年生は長崎県男女参画・女性推進室のコーディネートで、長崎市内6社の企業に分かれて訪問しました。それぞれの企業で活躍する女性の方々と直接意見交換することで、ホームページでは得られない情報を得ることができ、『働く自分の姿』を想像する機会となりました。
(鈴木洋一)

生徒の感想

「将来、自分が就職した時に、どのように息抜きするのかや仕事と私生活の両立の仕方など、役に立つことが聞けて良かったです。」「長崎で働くのもいいなって思いました。お世話になった地元長崎の活性化のために働く皆さんに、憧れを抱きました。」



中2、総合学習で職場体験

中学二年生の総合的な学習時間の一環として、13の企業や学校関係の方にご協力いただき、職場体験を2日間実施いたしました(7月6日(木)、7日(金))。生徒たちは事前準備、電話アポイントメント、当日、体験レポートやお礼状作成を通して貴重な体験ができ、とても喜んでいました。全国的に学校現場ではアントレプレナーシップ教育や、金融教育を取り入れることが重視されており、本校も総合学習や特別行事、教科学習と組み合わせながら実施しています。

生徒の感想

「これからも、この職場体験での経験を忘れずに日々過ごしていきたいです。」「私のこれからの人生に関わる貴重な体験を体験させて頂きました。」「今回の体験を通して図書館司書の仕事に興味が増えました。カウンター業務や装束の時などに優しく教えてもらい、とてもわかりやすくてためになりました。職場体験で学んだことをこれからの生活で活かしていきたいです。」「いろいろな外国の方のことや文化が知れてとても楽しかったです。私が行きたい国のことなどもわかって、もっと行きたい気持ちが増えました。」「私も将来は自分が好きな仕事で周りの人を幸せにしたいと思いました。体験中は至らない点ばかりではありましたが、自分が客側からは分からない工夫や思いを学ぶことができました。働くことの大変さを知り、あらためて両親や働いている方々に感謝することができました。」



活水女子大学説明会

7月18日(月)、高校III年生の希望者を対象に、活水女子大学説明会を実施し、70名ほどの生徒が参加しました。

来年度から、国際文化学部は学科再編成を行い、新たにスタートします。

新たな国際文化学科は、英語コミュニケーションコース、日本文化コース、地域ビジネスコースの3つのコースに分かれ、自分の専門分野だけでなく、他のコースについても同時に学ぶことができます。

また、一般選抜でも上位30%で合格すれば1年分の授業料相当額が給付される制度が導入されます。入試制度は毎年見直されます。常に最新の入試情報を確認しましょう。(古田雄介)



球技大会、久しぶりの大声援

7月19日(水)に校内球技大会が行われました。久しぶりに声出し応援が解禁され、各クラス非常に盛り上がった応援の中、中学は全学年を赤青に分け高校はクラス対抗で1学期の授業の発表の場としてバレーボールを行いました。大声援の中、全員が出場し白熱したプレーの応酬で大いに大会が盛り上がりました。結果は以下の通りです。

中学 優勝 赤組
高校 優勝 IB
準優勝 III C
第3位 IID、IC

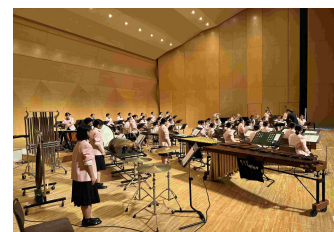
暑い中みんなよく頑張りました。
(平野智也)



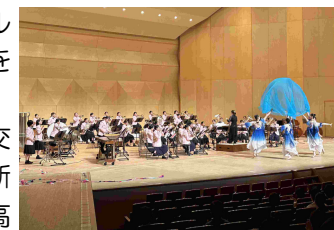
第1回海の日コンサート

7月17日(祝)にブリックホールにて「第1回海の日コンサート」を開催しました。

趣旨は、中学校吹奏楽部にとって一大イベントである夏の吹奏楽コンクールに向け、県大会が行われる同じホールで観客を目の前にコンクールで演奏をする曲を披露し番への度胸を付けること、また中学生と活水中高吹奏楽部、



お互いあの演奏を聴きあい、音楽を通しての交流をすることを目的に開催しました。当日は新体操部や放送部にも協力してもらい、活水中高手作りのコンサートとなりました。中学生の熱演に感激する1日でした。来年度も第2回を開催する予定です。是非多くの方々に来場していただきたいと思います。(杉町たまみ)



大会成績等

〈中学新体操部〉

かささぎ杯ジュニア新体操競技大会 兼 全日本ジュニア新体操選手権大会 九州地区予選会
団体競技 1位 (長崎県代表認定)
個人競技 1位 久米つづり(長崎県代表認定)
3位 平井彩摘(長崎県代表認定)

〈中高吹奏楽部〉

長崎県吹奏楽コンクール 高等学校の部 金賞
並びに 九州吹奏楽コンクール県代表に推薦

〈中学放送部〉

第40回NHK杯中学放送コンテスト長崎県大会
アナウンス部門 優良賞 梶原夢花

〈高校バドミントン部〉

ネイバルアーキテック杯争奪夏季バドミントンダブルス大会

女子Bクラス

2位 前田美采・森澤ひなた ペア

女子Cクラス

1位 野呂夏希・生田有依茄 ペア

2位 酒井史樹・村上彩 ペア

〈図書委員会〉

長崎県高等学校総合文化祭図書部門
第18回ライブラリーフェスティバル県南地区大会

図書館広報紙コンクール 最優秀賞

ビブリオバトル 準チャンプ本に選出

吉田 幸加(書名「アニー」)

(山口真樹人)